

アーティストファイル

ジェームズ・マクニール・ホイッスラー

19世紀に活躍したアメリカ人の画家、版画家。アメリカ生まれではあるが、パリで美術を学び、画家としてはロンドンとパリで過ごした。パリでは当時革新的だった写実主義のギュスターヴ・クールベに感銘を受けた。マネやモネ、ドガなどの印象派の画家たちとも親交はあったが、同世代の近代美術の潮流の中で、作品の題名に「シンフォニー」や「ノクターン」などの音楽用語を多用し、絵画は現実世界の再現ではなく、形と色彩からなる芸術だとする「唯美主義」として独自のスタイルを確立した。代表作の「ノクターン」シリーズでは、下から見上げた橋の構図や水墨画のようににじんだ色調など、浮世絵をはじめ、日本美術の影響を強く受けており、ジャポニズムの画家と言われる所以である。